



## マーケット・ウォッチ 2019年11月号

### 1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

#### <先月の回顧>

##### ① 株式市場

日経平均株価は前月比+1,171円と2か月連続で大幅上昇（騰落率+5.38%、月末終値 22,927円）。米中通商協議の部分合意、英国の合意なきEU離脱懸念の後退および本邦企業業績の底入れ期待の高まりから、29日には約1年ぶりとなる2万3千円の大台を一時回復。世界市場に比べ出遅れ感のある日本株が、先月に引き続きアウトパフォームする展開。

##### ② 為替市場

米ドル円相場は、円安ドル高傾向で推移（月末気配：1ドル108.01円）。米中通商協議の進展期待でリスク選好姿勢が高まり、緩やかな円安ドル高の展開。30日のFOMC（米連邦公開市場委員会）にて利下げ一時休止を示唆したことから、3ヵ月ぶりに一時109円28銭まで円安ドル高が進行。しかし、中国PMI（購買担当者景気指数）の低下および米中貿易摩擦懸念の再燃から、一時107円92銭まで円高に振れ、月末比ではほぼ横ばい。

##### ③ 債券市場

日本10年国債利回りは、前月末比+0.067%金利上昇（月末値▲0.151%）。米中通商協議の進展期待や英国の合意なきEU離脱懸念後退により、投資家のリスク選好から債券は売られ10年国債利回りは一時▲0.115%まで上昇したが、月末には米中摩擦懸念の再燃から金利上昇幅は縮小。

#### <今後の相場見通し>

##### ① 株式市場

日経平均株価は、堅調な展開を予想。日経平均株価の2万3千円以上の価格帯には戻り待ちの売り手が少ないため、海外投資家の「持たざるリスク」による買付または米中貿易摩擦緩和から、年末に向け一段高の展開を想定。

（今月の予想レンジ）日経平均株価 21,500～25,000円 NYダウ 26,000～28,500ドル

##### ② 為替市場

米ドル円相場は、緩やかな円安米ドル高基調を予想。堅調な雇用環境および個人消費を背景とした米国経済の持続的な成長に加え、米国の予防的な利下げ打ち止め観測から円安米ドル高傾向の継続を想定。

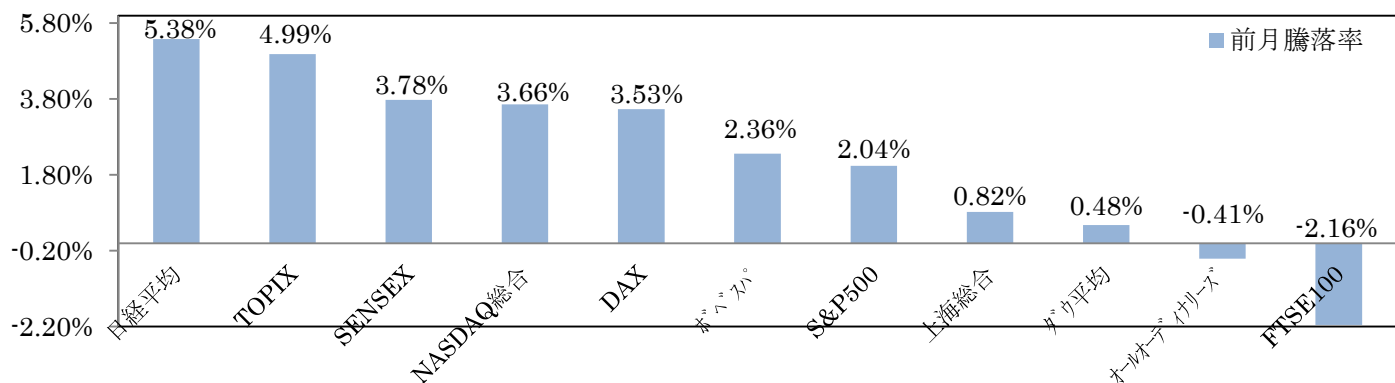
（今月の予想レンジ）米ドル円 106.00～112.00円 ブラジルリアル円 25.50円～29.00円

##### ③ 債券市場

日本10年国債利回りは、横ばい圏推移を予想。10月の日銀政策決定会合では、将来の利下げの可能性を声明文で示唆したが、対米ドルの円相場が安定推移する間は追加緩和の見送りを見込む。

（今月の予想レンジ）日本10年国債利回り ▲0.25～▲0.03% 米国10年国債利回り 1.50～2.00%

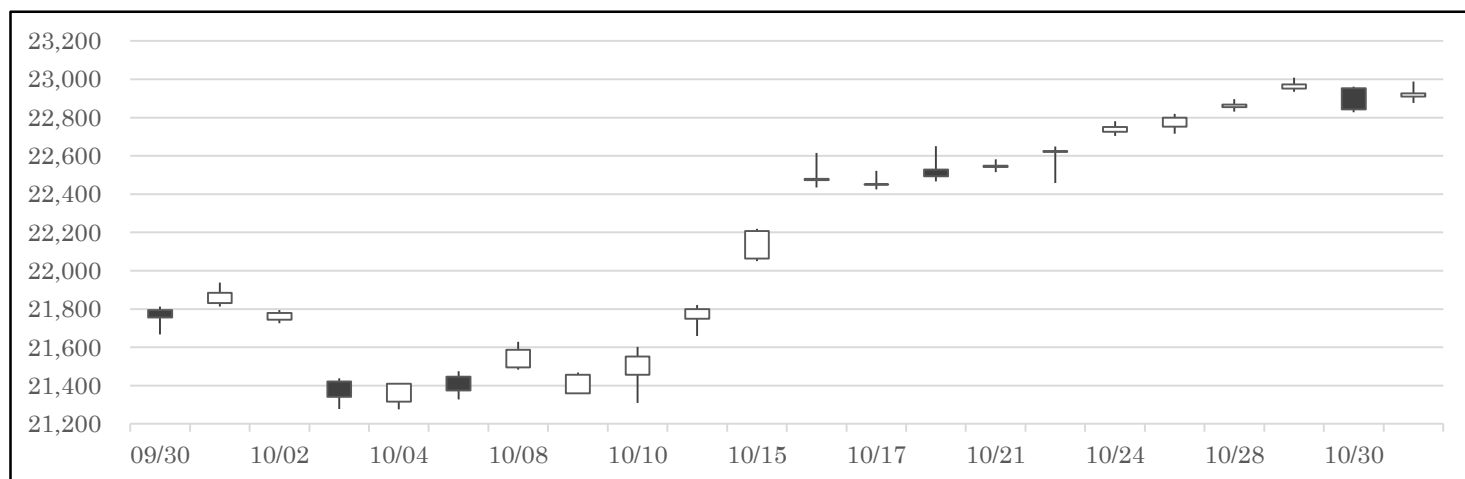
## 2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



## < 主要株式指標 月末終値 >

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	オーストリア・インデックス	上海総合	ホンバシ	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストリア	中国	オーストリア	インド
22,927.04	1,667.01	27,046.23	3,037.56	8,292.36	12,866.79	7,248.38	6,772.9	2,929.0561	107,219.83	40,129.05

## < 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

### < 先月の回顧 >

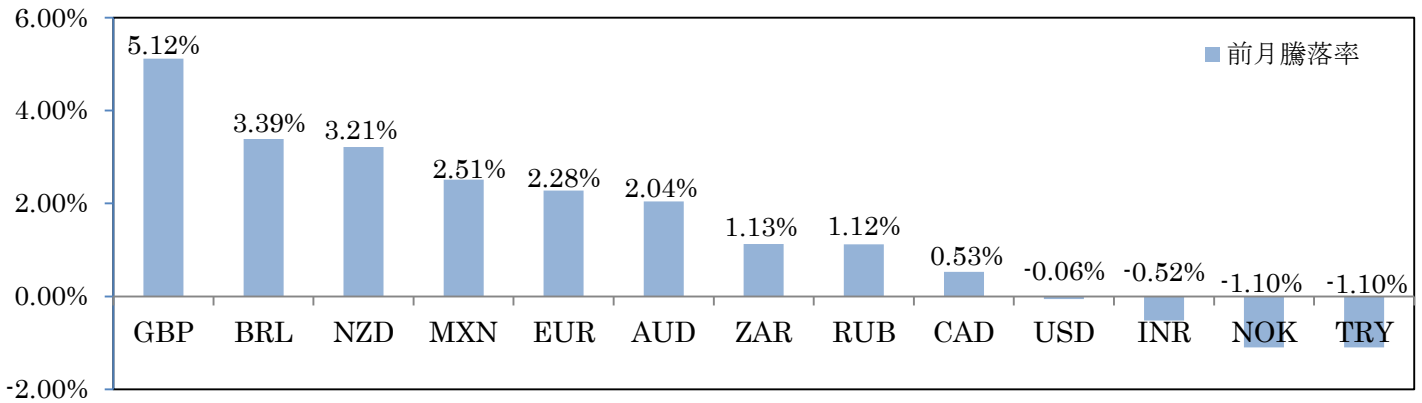
- ① 日経平均株価は前月比+1,171円と2か月連続で大幅上昇(騰落率+5.38%、月末終値22,927円)。米中通商協議の部分合意、英国の合意なきEU離脱懸念の後退および本邦企業業績の底入れ期待の高まりから、29日には約1年ぶりとなる2万3千円の大台を一時回復。世界市場に比べ出遅れ感のある日本株が、先月に引き続きアウトパフォームする展開。
- ② NYダウ(米国株式)は前月比+129ドル上昇(騰落率+0.48%、月末終値27,046ドル)。米中通商協議の部分合意報道および月末のFOMC(米連邦公開市場委員会)の利下げ観測により、史上最高値圏で底堅い展開。30日のFOMCによる0.25%の利下げを好感し、米国株式の代表的指標であるS&P500指数は史上最高値を更新。

### < 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は、堅調な展開を予想。日経平均株価の2万3千円以上の価格帯には戻り待ちの売り手が少ないため、海外投資家の「持たざるリスク」による買付または米中貿易摩擦緩和から、年末に向け一段高の展開を想定。
- ② 米国株式は引き続き堅調推移を予想。米中貿易協議および米朝交渉においてトランプ大統領の譲歩姿勢は鮮明で、大きなチャップ台返しは見込み辛い。堅調な雇用環境および個人消費、また製造業の一部に生産の持ち直しがみられることから、年末に向け堅調な展開を想定。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 21,500 ~ 25,000円 NYダウ 26,000 ~ 28,500ドル

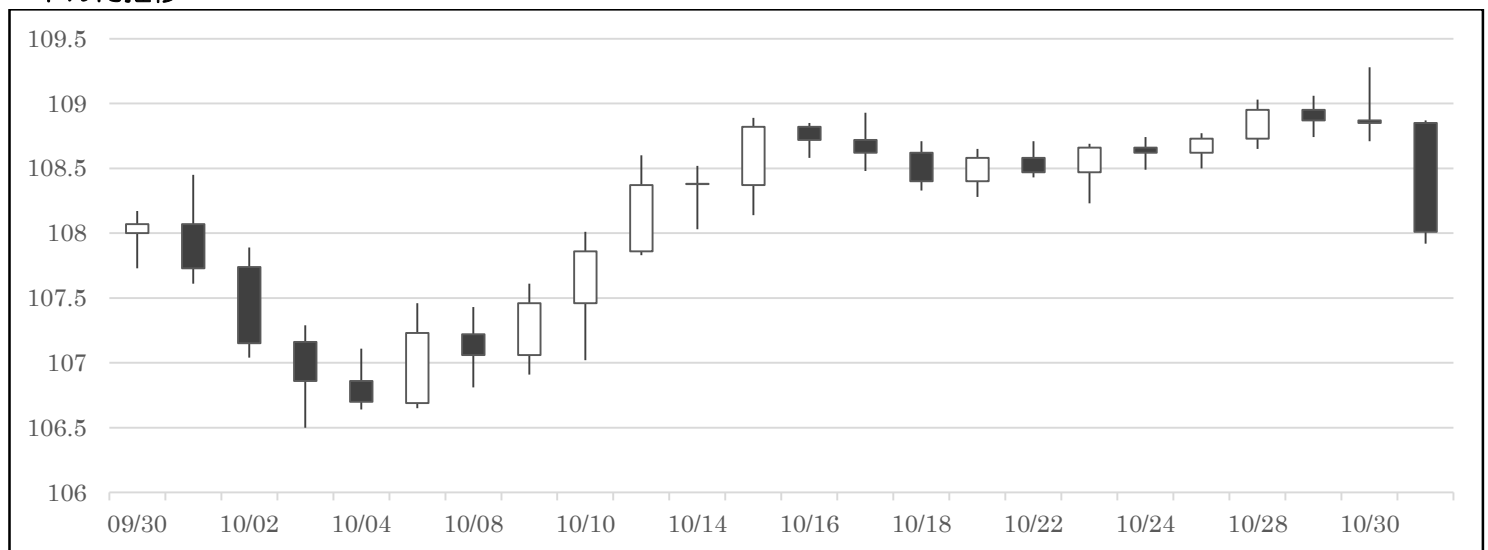
### 3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



### < 主要通貨対円 月末気配レート >

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
アメリカ	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
108.01	120.46	139.64	74.44	82.02	69.72	11.74	26.87	1.5216	5.6104	1.6835	7.16	18.91

### < ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

### < 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は、円安ドル高傾向で推移（月末気配：1ドル108.01円）。米中通商協議の進展期待でリスク選好姿勢が高まり、緩やかな円安ドル高の展開。30日のFOMC（米連邦公開市場委員会）にて利下げ一時休止を示唆したことから、3ヵ月ぶりに一時109円28銭まで円安ドル高が進行。しかし、中国PMI（購買担当者景気指数）の低下および米中貿易摩擦懸念の再燃から、一時107円92銭まで円高に振れ、月末比ではほぼ横ばい。
- ② 新興国通貨は対円で全般的に堅調推移。好調な株式市場を背景にリスク選好が進み、新興国通貨が買われる展開。ブラジルリアル円では22日の年金改革法案上院可決を受け、28日には2ヵ月ぶりの27円40銭までリアル高が進行。

### < 今後の見通し >

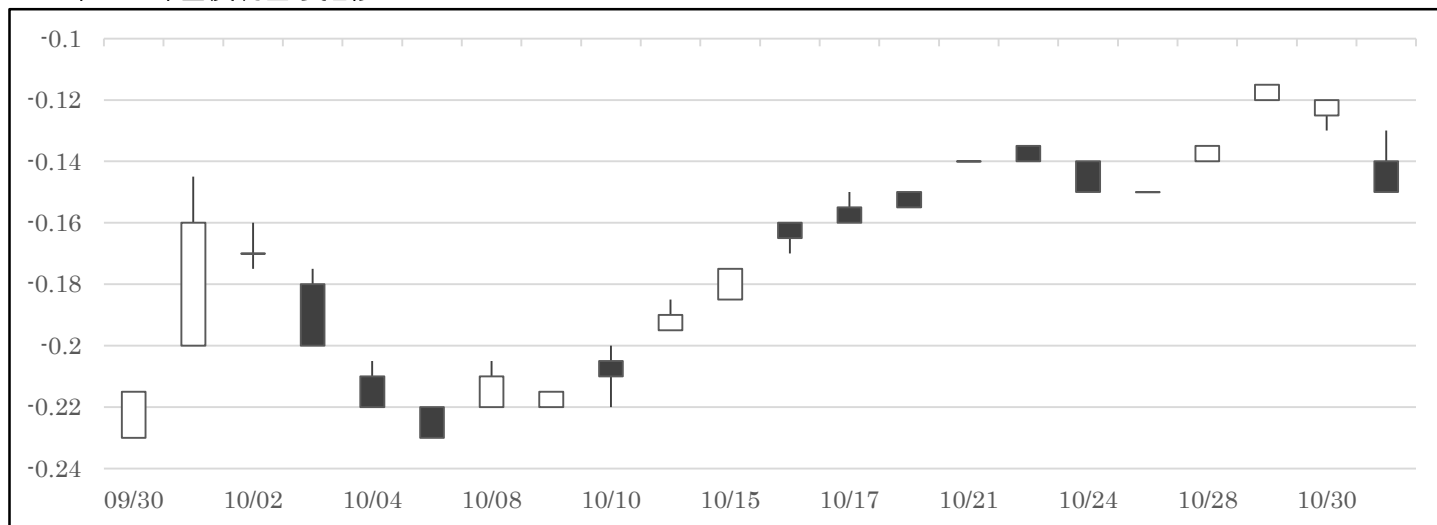
- ① 米ドル円相場は、緩やかな円安米ドル高基調を予想。堅調な雇用環境および個人消費を背景とした米国経済の持続的な成長に加え、米国の予防的な利下げ打ち止め観測から円安米ドル高傾向の継続を想定。
- ② 新興国通貨は、引き続き買戻される展開を予想。世界各国が金融緩和スタンスであり、緩和マネーが新興国に流入しやすい展開。ブラジルリアル円は、景気浮揚や経済改革の進展期待により持ち直しを見込む。

（今月の予想レンジ）米ドル円 106.00 ～ 112.00 円 ブラジルリアル円 25.50 円 ～ 29.00 円

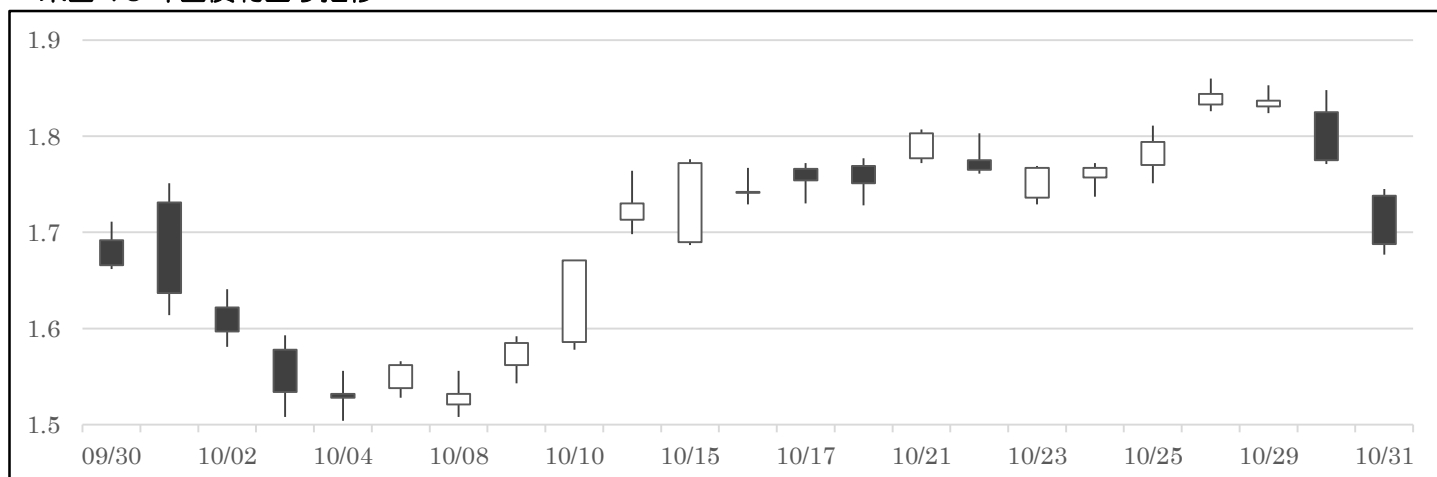
#### 4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	インド	ブラジル	メキシコ
10年国債利回り	-0.151	1.688	-0.407	0.629	6.453	6.564	6.754
前月騰落幅	0.067	0.022	0.17	0.147	-0.256	-0.563	-0.109

##### < 日本 10年国債利回り推移 >



##### < 米国 10年国債利回り推移 >



(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーエム証券が作成

##### < 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、前月末比+0.067% 金利上昇（月末値▲0.151%）。米中通商協議の進展期待や英国の合意なき EU 離脱懸念後退により、投資家のリスク選好から債券は売られ 10年国債利回りは一時▲0.115%まで上昇したが、月末には米中摩擦懸念の再燃から金利上昇幅は縮小。
- ② 米国 10年国債利回りは、前月末比+0.022% 小幅上昇（月末値 1.688%）。米中貿易協議の進展等により、米株高・債券安の地合いから約 1 ヶ月半ぶりに利回りは一時 1.85%まで上昇。30 日の FOMC では、事前予想通り 0.25%利下げを実施。

##### < 今後の見通し >

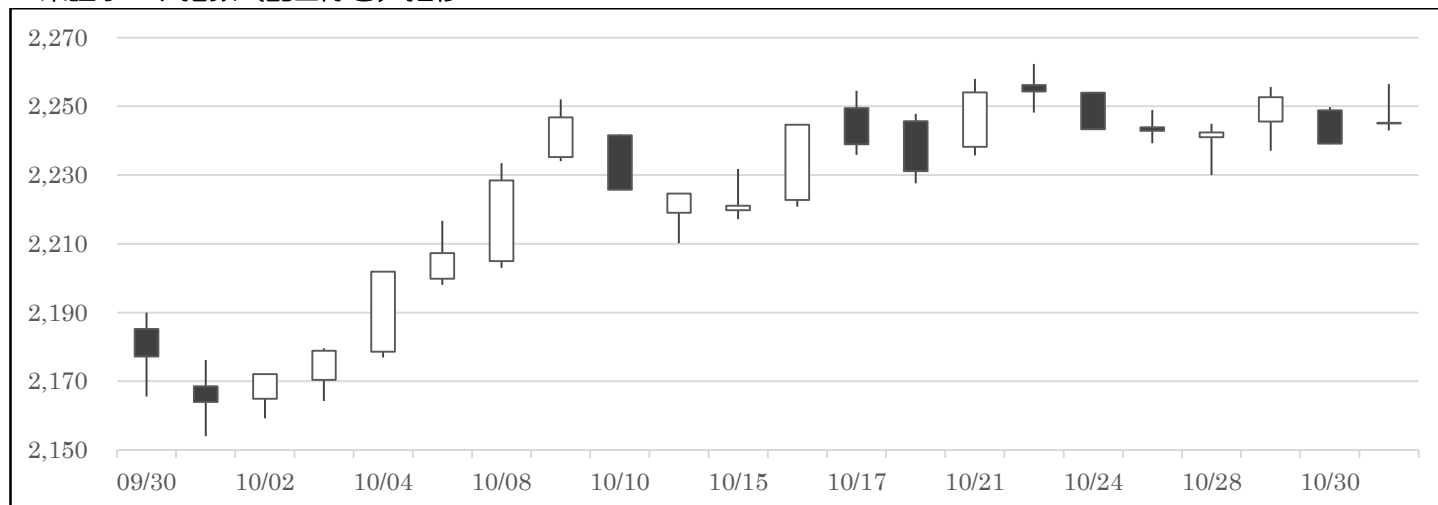
- ① 日本 10年国債利回りは、横ばい圏推移を予想。10月の日銀政策決定会合では、将来の利下げの可能性を声明文で示唆したが、対米ドルの円相場が安定推移する間は追加緩和の見送りを見込む。
- ② 米国 10年国債利回りは、小幅の金利上昇を予想。10月の FOMC で当面の予防的利下げ休止を示唆したことから、12月の FOMC では政策金利据え置きを見込む。堅調な雇用環境や個人消費、製造業に関する底入れ期待から金利は緩やかな上昇を想定。

(今月の予想レンジ) 日本 10年国債利回り ▲0.25 ~ ▲0.03 % 米国 10年国債利回り 1.50 ~ 2.00 %

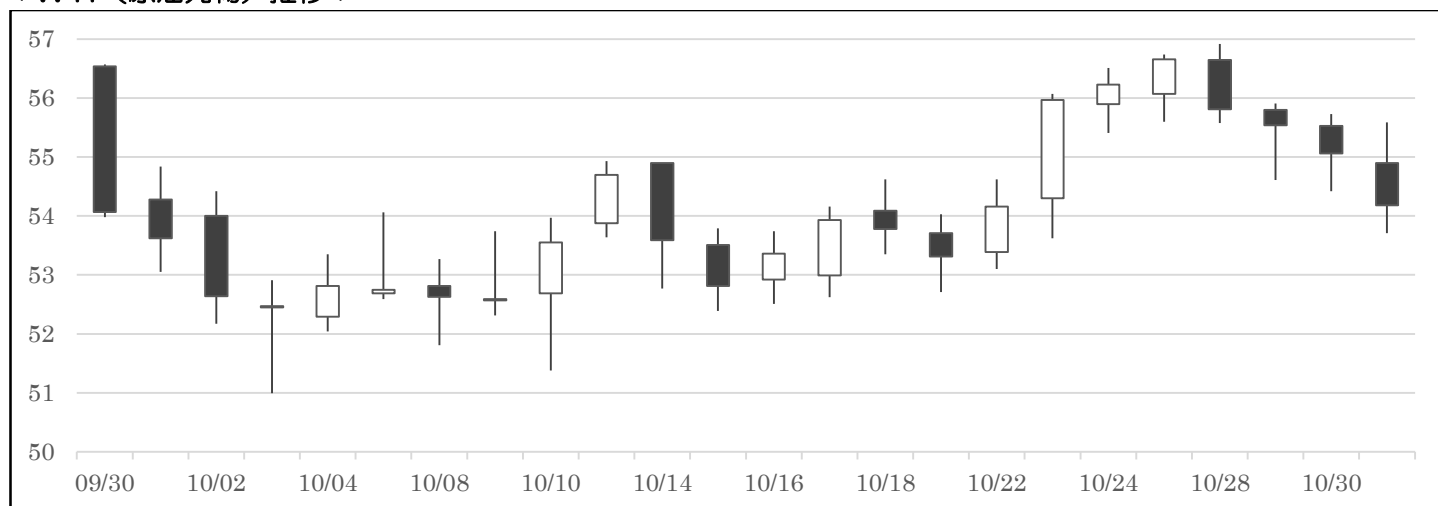
## 5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

	リート（配当除き）			商品（米ドル建）	
	東証リート指数	S&P 米国リート指数	S&P 豪州リート指数	原油 WTI 先物	金 COMEX 先物
指数（配当除き）	2,245.01	356.82	168.15	54.18	1,514.8
前月騰落率	3.12	1.53	1.44	0.20	2.84

### 〈東証リート指数（配当除き）推移〉



### 〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

### 〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月末比+3.1%上昇（月末終値：2,245 ポイント）。相対的に高い分配金利回りが期待できる J リートに資金流入継続。9 月末に FTSE 社（英国の大手指数算出会社）が世界株運用指数に J リートの組み入れ開始（2020 年 9 月から）を発表したことも好感。
- ② WTI（原油先物）は、前月末比+0.2%小幅上昇（月末終値：54.18 ドル）。9 月のサウジアラビア国営石油施設への攻撃による供給不安は沈静化。12 月の OPEC 総会で協調減産が強化されるとの期待から原油価格が下支えられる一方、米原油在庫の増加などの下落要因から方向感がない展開。

### 〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、底堅い推移を予想。株式市場が堅調地合いのため、J リートの上昇ペースには一服感が出ており、また年初来目立った調整局面もなく上昇したため、利食い売りをこなしながら底堅い展開を想定。
- ② WTI は、緩やかな上昇を予想。世界経済の減速懸念後退およびサウジアラビア国営石油会社の巨大 IPO を控え、原油価格の下支えを見込む。

（今月の予想レンジ） J リート 2,100 ～ 2,300 ポイント      WTI 50 ～ 65 ドル

## 6. 2019年11月のスケジュール

日本		米国		その他	
1日	9月失業率	1日	10月雇用統計	5日	豪州金融政策決定会合
14日	7-9月期GDP		10月ISM製造業景況指数	7日	BOE金融政策決定会合 (英国)
20日	10月貿易収支	5日	10月ISM非製造業景況指数	14日	メキシコ金融政策決定会合
22日	10月全国CPI	13日	10月消費者物価指数(CPI)	16-17日	APEC首脳会議
29日	10月失業率	15日	10月小売売上高	21日	インド金融政策決定会合
	10月鉱工業生産	19日	10月住宅着工件数		南アフリカ金融政策決定会合
	10月住宅着工件数	27日	10月耐久財受注		
			PCEコア・デフレーター		
		29日	ブラックフライデー		

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ティーム証券が作成

## 7. 事業所案内

支店名	住所	電話番号	支店名	住所	電話番号
本社	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (アゴラ静岡4F)	0120-23-1184	富士支店	〒417-0055 富士市永田町1丁目70番地 (静岡銀行富士中央支店2F)	0545-51-2211
本店営業部	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (静岡銀行呉服町支店2F)	054-255-7511	浜松支店	〒430-0944 浜松市中区田町322番地の7 (アゴラ浜松2F)	053-458-7700
静岡駅南支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 (静銀・中京銀静岡駅南ビル2F)	054-282-5700	掛川支店	〒436-0056 掛川市中央1丁目22番地の10 (静岡銀行掛川支店2F)	0537-22-0080
清水支店	〒424-0812 静岡市清水区小芝町2番1号 (静岡銀行清水中央支店2F)	054-367-2000	磐田支店	〒438-0073 磐田市二之宮東1番地1 (静岡銀行磐田支店2F)	0538-36-1411
藤枝支店	〒426-0034 藤枝市駅前1丁目6番4号 (静岡銀行藤枝駅支店2F)	054-645-2110	浜松西支店	〒432-8061 浜松市西区入野町9784番地の1 (静岡銀行入野支店1F)	053-449-5500
島田支店	〒427-0022 島田市本通3丁目6番の2 (静岡銀行島田支店1F)	0547-34-5040	浜松北支店	〒433-8114 浜松市中区葵東1丁目5番2号 (静岡銀行葵町支店2F)	053-420-1851
沼津支店	〒410-0055 沼津市高島本町1番地の1 (静岡銀行沼津駅北支店2F)	055-921-1811	浜北中央支店	〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢318番地の1 (静岡銀行浜北支店2F)	053-586-7811
熱海支店	〒413-0013 熱海市銀座町14番8号 (静岡銀行熱海支店3F)	0557-83-5081	横浜支店	〒220-0004 横浜市西区北幸1丁目11番15号 横浜S Tビル2F	045-316-2211
三島支店	〒411-0838 三島市中田町10番29号 (静岡銀行三島支店2F)	055-972-9100	横浜支店 藤沢営業所	〒251-0052 藤沢市藤沢東横須賀556番地の76 (静岡銀行藤沢支店2F)	0466-22-6781

【作成】静銀ティーム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)  
長堀 新司 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト)

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

### ● 投資信託にかかるご注意

#### ◆ お客様にご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.85% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%

間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.42% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。

#### ◆ 投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。

詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

### ● 上場有価証券等にかかるご注意

#### ◆ お客様にご負担いただく費用

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)

・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)

・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.1%

#### ◆ 上場有価証券等のリスクについて

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

### ● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

#### ◆ お客様にご負担いただく費用

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。

#### ◆ 債券のリスクについて

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。

外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。

上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

# SHIZUGIN TM SECURITIES



**静岡ディーエム証券株式会社**

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>